



2024 年度 常磐大学 海外研修 報告書



— 韓国 —



大邱カトリック大学

2025 年 3 月 8 日 (土) ~ 3 月 15 日 (土)



2024年度海外研修（韓国）日程表

	日付		実施内容	食事	宿泊先
1	3月8日(土)	午前	✈ 14:20 成田国際空港発 ⇒ 16:50 大邱国際空港着	夕食 (専用バス で案内)	大 邱 グ ラ ン ド ホ テ ル
		午後	🚌 専用バスにて移動 (空港ーホテルー夕食会場ーホテル) 🍴 (夕食) サムギョプサル		
2	3月9日(日)	終日	🚌 安東歴史踏査 (専用バスで移動・ガイド付) 8:00 ホテル発 ・河回洞タル (仮面) 博物館 ・芙蓉臺 (プヨンデ) ・花川書院 ・河回村 ・チマチョゴリ着付体験 🍴 (昼食) サバ定食 (夕食) カルビ、冷麺 19:30 ホテル着	朝食 (ホテル) 昼・夕食 (研修に 含む)	
3	3月10日(月)	午前	🚗 10:00 大型タクシーにて大邱カトリック大学へ移動 🏠 11:00 大邱カトリック大学ゲストハウス入室	朝食 (ホテル)	大 邱 カ ト リ ッ ク 大 学 (マ ッ プ : E 1 0)
		午後	🍴 学食で昼食 13:00 博物館見学 16:00~17:00 交流会	昼・夕食 (各自)	
4	3月11日(火)	終日	🚌 慶州 (新羅古都) 歴史踏査 (専用バスで移動・ガイド付) 8:00 チャムインジェ館前駐車場発 ・仏国寺 ・石窟庵 ・普門リゾート (車窓) ・瞻星台 (車窓) ・皇南パン ・古墳公園、大陵宛 (天馬塚) ・校洞村 ・国立慶州博物館 🍴 (昼食) 石焼ビビンバ (夕食) 海鮮鍋、チヂミ 19:00 チャムインジェ館着	朝食 (各自) 昼・夕食 (研修に 含む)	
5	3月12日(水)	午前	9:00~10:30 正規授業参加『中級日本語会話1』 11:00~13:00 『韓国語授業』	学 食 ・ 売 店 等 で 各 自 手 配	
		午後	15:00~16:30 正規授業参加『サービス日本語会話』		
6	3月13日(木)	午前	9:00~11:00 『韓国語授業』		
		午後	13:00~14:30 正規授業参加『就職日本語特講1』 15:00~16:15 ★常磐大学学生による発表 正規授業『日本の伝統文化』授業内		
7	3月14日(金)	終日	🚌 🏠 大邱市内文化施設見学 (グループ別) ★大邱カトリック大学学生同行 🧑🧑		
8	3月15日(土)	午前	🚗 大型タクシーにて大邱国際空港へ移動		—
		午後	✈ 11:10 大邱国際空港発 ⇒ 13:20 成田国際空港着		

海外研修報告書（韓国）

人間科学部教育学科 3 年

1. はじめに

私はこれまで海外への渡航経験がなく、学生であるうちに海外へ行き、自分の知見や価値観を広げたいと考え、今回海外研修への参加を希望した。また、いくつかある海外研修の中で韓国を選んだ理由は、まず中学生のころからK-POPアイドルが好きで、韓国の文化や韓国語を以前から学んでみたいと思っていたからである。また、日本から一番近い国で比較的手軽に行くことのできる外国であり、日本との文化や生活の違いを実際に感じてみたいと思ったからである。これらの目的から私は日本との文化や生活の違いを感じることを通して異文化理解を深めること、同じ言語での交流が難しい人とコミュニケーションを取るスキルを身に付けることを韓国研修で達成したいこととした。

2. 韓国研修で学んだこと

言語が異なることの難しさと伝えようとすることの大切さ

今回の研修を通してやはり日常的に扱う言語が異なると、自分の思っていることを伝えたり、相手の思っていることを理解したりするのが難しいと感じた。私たちが主に交流した大邱カトリック大学の学生は日本語がとても上手で、基本的には日本語での会話でコミュニケーションを取ることが出来たが、それでも伝えようとしたことと異なる捉え方を相手がしてしまう場面や言葉の意味が分からず簡単な言葉に言い換える必要がある場面があった。しかし、互いにできるだけ分かりやすく互いの言語も使いながら伝えようとすることでなんとか伝わり会話することが出来た。このことから例え言語でのコミュニケーションが多少困難でも、伝えようとする気持ちを持つことが大切だと学んだ。また、自分の考えを伝えるために韓国語でのコミュニケーションも少し行ったり、1週間の中で何度かあった韓国語の授業を受けたりすることで、自分の韓国語の言葉のバリエーションを増やすこともできた。今回の研修の中で韓国人の友人もできたため、今後よりコミュニケーションを円滑にとる事ができるように韓国語の学習を続けていきたいと思う。

韓国の文化について

今回の研修では、大邱市内のお寺や博物館、昔の学校など韓国文化を感じられる場所を訪れた。また、チマチョゴリを実際に着てみたり様々な韓国料理を食べたりなどし、日本文化との違いも感じる事ができた。食事の面では、日本は大皿が出たら基本的に取り分けて食べることが多いが、韓国では取り分けずみんながそれぞれの箸やスプーンで同じ皿から食べるということを知った。



비빔밥(ビビンバ)



花川書院
(ファチョンソウオン)

また、花川書院（ファチョンソウオン）に行ってみて、民間人によって作られたことや、建物の造りなどが日本の寺子屋に似ていると感じた。他にも、チマチョゴリを着てみて、日本の着物とは締め付ける場所がちがったり、着物は身体に巻き付けるような形だが、チマチョゴリは現代の洋服に近い形であったりなど日本の昔の服との違いを感じた。韓国のチマチョゴリも日本の着物同様、現代の洋服に比べてやはり動きにくく、昔の人はどこの国も大変だったのだと感じた。

3. まとめ

今回の研修を通して、まずは韓国人の学生と友人になったり、沢山会話をすることが出来てよかった。また、自分はこれまで海外に行ったことがなかったため、海外を訪れ、文化の違いや言語の違いなどから自分の知見を広げることができたと考える。今回の研修で学んだことを今後社会に出てからも活かせるようにしていきたい。

韓国研修において学んだこと

人間科学部教育学科 3 年

1 はじめに

今回私が韓国研修に参加した理由は、2つあります。

1つ目は、もともと韓国に興味があり、現地に行って韓国ならではの空気、観光では味わえない空気を感じたいと思ったからです。また、私は韓国の教育に興味があり、現地の大学で学生生活を体験することによって、日本との違いや韓国、日本、それぞれの良さに気づくことができるのではないかと考えました。

2つ目は、昨年度韓国研修に参加し大邱カトリック大学の学生のみなさんと交流した際に、自分にとってとても良い刺激を受けたり、海外研修を通して自分の考えが広がったため、もっと学べるのではないかと考えたからです。また、この1年の自分の成長から前回とは違う視点で物事を見ることや新たな感じ方ができるのではないかと思い、2回目の韓国研修に参加することを決めました。

2 韓国研修で学んだこと

私が韓国研修で学んだことは、2つあります。

1つ目は、韓国文化です。2日目の安東歴史踏査では、チマチョゴリ着付体験をしました。チマチョゴリは、伝統的な韓服として有名ですが、日本では全く形の異なる着物が伝統的な和服として有名です。成人式で着た振袖と比べてみてどちらも少し動きづらいですが、華やかで、チマチョゴリは身体の可動範囲が広いが歩く際や座る際に不便、振袖は身体が締め付けられているようで少し窮屈だが歩く際や座る際など動くときにきれいですっきりしているなど、韓国と日本の生活様式の違いが感じられました。また、食事をする際にも、食器が全て銀だったり、箸が平べったい、スプーンと箸が基本、一人ずつ食事が分けられているのではなく、みんなで食べる、2人前からしか頼めないこともあるなど、日本と韓国の地理的距離は近くても、さまざまな文化は全く異なることを改めて実感し、おもしろいなと思いました。

2つ目は、異文化交流の仕方です。授業や交流会でカトリック大学の学生と交流する機会が多く、日本語日本文学科の学生だけでなく、副専攻として日本語日本文学を学んでいる他学科の学生も多くいました。彼らのほとんどが私たち日本人の学生に興味を持ってくれて、積極的に交流をしようと行動してくれました。初対面の上、韓国語も完璧にできるわけではなく不安な部分もありましたが、実際交流してみると、現地の学生はとても日本語が上手く、また互いに分からない言葉があったとしてもジェスチャーやニュアンスで伝えることができ、言語の壁は簡単に乗り越えられるもので、コミュニケーションをとりたいという気

持ちが重要なのだと考えさせられました。



チマチョゴリ着付体験



夕食の骨付きカルビ



現地の学生とおそろいのキーホルダー

3 まとめ

今回の韓国研修を通して、韓国についてもっと知りたいとより強く思うようになりました。また、韓国の学生の日本語の上手さや、日本に留学をしたい、もっと日本語が上手になりたいというような学習意欲の高さや強い意志、自発性から、自分も意識を高く、大学生活最後の1年を無駄なく学びのある充実した1年にしたいなと思いました。そして今回の研修で仲良くしてくれた現地の学生と今後も親交を深め、次会うときに韓国語でも会話ができるよう勉強に励みたいなと思いました。

海外研修報告書

教育学科 2 年

1. はじめに

海外研修に参加しようと思ったきっかけは、時間に余裕のある大学生のうちに、海外に行くことを経験しておきたかったからだ。フィリピンやタイの海外研修に参加する選択肢もあったが、韓国語を学んでいたことに加え、韓国の文化に興味があったので韓国に決めた。

韓国研修で達成したいと思ったことは、韓国人との会話の中でなるべく韓国語を使うことだ。日本語日本文学科の学生は日本語が話せると聞いていたが、スピーキング能力を鍛えるため、できるだけ韓国語を使いたいと思った。

2. 韓国研修で学んだこと

● 伝わることが大事

今回の研修を通して、韓国人の学生と会話をする機会がたくさんあった。私の当初の予定とは異なり、日本語での対話が多くなってしまったが、大きな学びがあった。それは、言葉がある程度間違っているにもかかわらず相手に伝わることだ。授業で日本語の会話パートナーを務めたとき、韓国人の相手が言葉に詰まってしまうことが何回かあった。そこで私が次に続く自然なフレーズを言うと、「それが言いたかった！」とばかりに笑顔で頷いてくれた。



日本語の会話パートナーとして授業に参加

帰国する前日には、「明日、お見舞いしに行ってもいいですか？」と聞かれたときに、お見送りのことを言っているのだとすぐに分かった。

私はこれまで、ネイティブと話す際に上手く話せるか不安があっ

た。しかし、相手がネイティブだからこそ自分の伝えたい意図を汲み取ってくれるのだと気づけた。

- 日韓の食事の違い

食事では、メインの肉や魚のほかに、テーブルに収まらないほどの小鉢が用意された。キムチやサニーレタスなどがあり、そのほとんどがおかわり自由だった。韓国では、客をもてなすために、多くの料理を提供する文化があるそう。ただ、あまりにも量が多かったため、料理を残してしまった。韓国では、出された料理を少し残すことが礼儀正しいとされているが、食べ物を粗末にしてはいけないと教わった私たちにとって、料理を残すことは心苦しかった。



たくさんの料理が提供される

- 日韓のトイレの違い

日韓の差を感じたことがもう1つある。トイレの清潔さと便利さだ。

公共のトイレでは便座や床に汚物が付いていることが多かった。次に使用する人への配慮や羞恥心がないのか疑問に思う。

トイレットペーパーを不便に感じた。日本と違い、両手で引きちぎる必要があるからだ。些細なことだが、日本のトイレに慣れている分、少し面倒だった。



トイレトペーパーホルダー

また、観光地である西門市場のトイレにはトイレトペーパーが一切なかった。これから韓国に行く人は、水に流せるティッシュを持参することを勧める。

3. まとめ

今回の研修で、日本語が通じない状況を初めて経験し、困惑したことが何回かあった。しかし、日本語日本文学科の学生との交流を通じて、言葉に自信がなくても、勇気をもって伝えてみるのが大切なのだと実感した。また、文化の違いで納得できないことがあっても、その文化の背景や理由を理解することも大切だと思う。



韓国研修報告書

学科名：人間科学部教育学科中等教育コース１年

1. はじめに

私が韓国研修に参加しようと思った理由は、海外研修の説明会でお話を聞いた際に、一番興味を持った国が韓国だったからである。私はもともと、大学生の間に一度は海外に行き、海外の文化や言語を学びたいと考えていた。海外文化に触れて、知識や会話力を身に着ければ、今よりも視野が広がると考えたからである。韓国研修の説明会では、民族衣装の着付け体験や歴史踏査などがあると聞き、参加するに至った。私は、韓国語の会話力を身に着けること、韓国の歴史施設を巡り視野を広げること、この二つを達成できるように研修に参加した。

2. 研修の内容

初日は大邱市内のホテルで身体を休めたため、本格的な研修は二日目から始まった。二日目は安東市に行き、チマチョゴリの着付け体験から始まり、河回村や河回洞博物館、芙蓉台、花川書院などを訪れた。三日目から最終日までは大邱カトリック大学に移動し、慶州市内の歴史踏査、大邱カトリック大学の韓国語や日本語学科の正規授業に参加し、研修を行った。慶州市内の歴史踏査では、仏国寺や石窟庵、古墳公園、大陵苑、校洞村、国立慶州博物館などを訪れた。また、車窓から普門リゾートや瞻星台を観覧した。韓国語の授業では、韓国語の挨拶や数字について学んだ。日本語学科の正規授業では、日本語会話やサービス日本語会話、就職日本語特講などの授業にも参加し、現地学生と交流した。日本の伝統文化の授業では、事前研修で決めたテーマに沿って、常磐学生である私たちがそれぞれのグループで発表した。最終日には、大邱カトリック大学の学生と大邱市内を散策した。東城路や西門市場などに行き、現地学生と楽しい時間を過ごした。

〈歴史踏査時の写真〉



①花川書院



②芙蓉台からみた河回村

3. 研修で得た気づき・学び

韓国では、交流した多くの人が日本語を話すことができている、驚いた。日本語学科の学生でなくても、私が日本人だと気づくと日本語で丁寧に説明してくださったからだ。韓国には優しさに満ちた人々が沢山いるのだと実感できた。それと同時に、韓国語で会話できない自分自身にもどかしさを覚えた。訪れる現地の言語の勉強は怠ってはならないものなのだと学ぶことができた。また、韓国ではクレジットカードを利用した決済が多いことに驚いた。私は今回の研修までにクレジットカードを使ったことがなかったが、韓国の人々は当たり前のようにクレジットカードを利用していたので、文化の違いを感じた。異なる文化の違いに戸惑うことが多かったが、違いについて学び理解していくことも国際交流をするにあたってたいせつなことなのだと学ぶことができた。

4. 韓国研修を検討している学生へ

韓国研修は私にとって非常に充実した思い出となったが、こうするべきだったと後悔した場面も多かった。私が後悔したことは、キャリーケースの荷物の容量と持参する現金についてである。私は研修の際に万が一の場合を考えすぎてしまったため、出発時の荷物が多くなってしまい、移動が大変になってしまった。これからキャリーケースを購入する際は容量や記載されている泊数を見て購入した方が良い。また、もともとキャリーケースを持っている人でも、泊数や荷物の容量が適しているかを確認したほうが良いと私は考える。持参する現金については、10000ウォンや50000ウォンではなく、1000ウォンをなるべく多く持ち歩いている方が良いと感じた。市場やショッピングモールなどで大きな買い物をする際は、10000ウォンや50000ウォンは役に立つが、コンビニやスーパーなどで小さな買い物をする際には1000ウォンが役立つからだ。大学内の学生食堂やコンビニを利用する機会が多いため、空港で両替する際は1000ウォン以下を多く両替することを勧める。

5. 終わりに

参加するか非常に悩んだが、韓国の人々との交流や歴史施設を巡ることにより、韓国についてより関心を持つことができたので、参加してよかったと感じた。今回の研修では、現地学生との交流が、日本語が主軸となっていたので、次に会う際は韓国語で話せるように、韓国語を学んでいきたいと思う。また、今回のような国際交流を深められる機会に積極的に参加し、コミュニケーション能力を高めていきたいと感じた。多くの人と会話ができるように、日々精進していきたいと思う。

韓国研修報告書

-韓国研修での経験-

現代社会学科 1 年



1. はじめに

私は、1週間大邱で研修に参加しました。この海外研修に参加しようと思ったきっかけは、元々韓国のドラマや音楽に興味を持っていて、春セメスターに朝鮮・韓国語を履修していたことから、実際に韓国に行って学んだことを取り入れたいと思ったからです。ドラマやSNSだけでなく、自分の目で見て、体験してみたかったから、この機会に研修に参加したいと思いました。この韓国研修をするにおいて達成したいことは、以前よりも沢山の韓国語を活用し、韓国の学生と会話することです。春セメスターで1年間学んだことを生かし、更により多くの知らなかった単語も覚えることができました。

2. 韓国研修で学んだこと

まず、韓国に行って実際に感じた大きな違いは、韓国と日本の食事マナーの違いです。日本はお皿を持ちながら食事をしますが、韓国はお皿を持たずに食事をします。また韓国ではおかずを人と共有しながら食べます。それぞれのお箸で、分けずに食べるスタイルでした。いつも日本ではお皿に取り分けて食べていたので、新鮮な体験でした。またご飯や汁物を食べる時は、スプーンで食べるということも日本ではなかなか見ない光景だったので、お互いの文化の違いを改めて学ぶ経験になりました。

また、研修の間に私情でカカオタクシーを使う機会がありました。カカオタクシーとは韓国の韓国独自のタクシーです。最初に行き先を話し、そこまでいくらかかるのかを韓国語で尋ねることができました。積極的に韓国語を使って説明したり、会話をしたりするという力が付きました。他国でタクシーを使うことは初めてだったので不安でしたが、タクシーのおじさんが韓国語で話しかけてくれたり、親切にしてくださったおかげで安心して使うことができました。

さらに、大学の授業では韓国の学生との交流の機会がたくさんありました。学年問わず一緒に授業を受けましたが、お互いが教え合いながら楽しくコミュニケーションをとることができました。韓国の学生は日本語が流暢だったので、とても驚きましたが、私も韓国語を使いながら会話することができました。何事に

も恐れずに、積極的に韓国の学生に話しかけることで自分に少しでも自信がついた気がします。



←韓国研修 2 日目昼食のサバ定食

3. まとめ

この韓国研修を通して、最初は初めての経験ばかりで不安に思っていたましたが、日が経つにつれて日本に帰るのが惜しい気持ちでいっぱいでした。カトリック大学内でできた友達と大邱ツアーに回り、地下鉄に乗ったり、ショッピングを楽しんだり、カフェに行ったり、写真を撮ったり、充実した大邱生活を送れたと思います。カトリック大学では韓国学生とサービス日本語の授業や就職日本語の授業を受けました。日本の飲食店で使う日本語を一緒に考えて発表したり、日本のビジネスで使える日本語を一緒に考えて、音声で録音したりしました。また、新しい韓国語を覚えたり、韓国語でコミュニケーションをとったりなど、挑戦する気持ちが大事だということに気づけました。もし韓国以外にも自分が興味のある国があるなら研修に参加し、自分の目で確認し、体験することをお勧めします。そうすることで語学をさらに深く学びたいという意欲が湧いてくるはずです。私は、悔いのない韓国研修を送れて良かったです。

2 日目夕食のカルビ→



韓国研修報告書



↑ 安東河回村の様子

人間科学部現代社会学科 1 年

1. はじめに

私が韓国研修に参加しようと思ったきっかけは、韓国に行って現地の人と交流してみたいと思ったからです。私は1年間韓国語の授業を履修していました。1年間韓国語を学び、以前よりも韓国語が読めるようになったのを実感しました。そして、授業で習うだけではなく実際に現地の人と交流してみたいと思いこの研修に参加しました。また、私は秋semesterに韓国から来ていた留学生のバディをしていました。バディとは、留学生と一緒に食事をしたり、課題の手助けをしたり、留学生の日本での生活をサポートする活動のことです。バディをしていた際に、韓国から来ていた留学生に韓国と日本の文化や習慣、流行の違いなどを教えてもらい、その違いを実際に自分の目で見てみたいと思ったのも参加のきっかけです。この研修に参加するにあたり私は「韓国で新しい友達を作る」「買い物をする際に自分で韓国語で注文してみる」という目標を立てました。

2. 韓国研修で学んだこと

食事のマナーについて

韓国と日本の食事のマナーは大きく違いました。日本では食器を持たずに食べることは行儀の悪いことですが、韓国では食器を持って食べることが行儀の悪いことに当たります。ドラマなどで見たことはありましたが、実際に韓国に行ってみて食器を持たないで食べているのを見るのは新鮮でした。食器を持たないため、箸を持っていない方の手は使わず膝の上に置いている人が多かったです。また、日本ではおかずもご飯も箸で食べますが、韓国ではおかずは箸、ご飯はスプーンで食べることを知りました。日本と韓国、隣の国なのに食事のマナーは大きく異なっていて驚きました。



← 2日目の夕食のカルビ

韓国のカラオケについて

秋セメスターでバディだった友人と久しぶりに再会しカラオケに行ったのですが、韓国のカラオケでは間奏をスキップすることを初めて知りました。韓国では間奏は時間がもったいないため飛ばすことが多いそうです。また、日本では何時間で何円というカラオケがほとんどですが、韓国には何円で何曲歌えるというカラオケがありました。私が行ったカラオケは100円で4曲歌えるカラオケで、日本とは違うシステムでとても不思議で楽しかったです。

韓国での支払いについて

韓国で買い物をした際に、ほとんどカードで決済しました。現金が使えずカードでしか支払えないお店もありました。カードの利用頻度が高く、現金を持ち歩いていない人も多く、韓国は日本よりもキャッシュレス化が進んでいるのを感じました。

韓国の信号について

韓国の信号は青信号が点滅するとカウントダウンが始まる仕組みがあることに気づきました。信号が点滅し始めると信号の下に赤信号になるまでの秒数のカウントダウンが表示されていました。日本では見かけない、とても便利な仕組みだなと思いました。



↑ 韓国の街中の信号

3. まとめ

現地の学生と交流してみて、日本語が上手な学生が多く私ももっと韓国語の勉強を頑張ろうという刺激をもらいました。また、実際に買い物をした際に、会話のスピードが速く聞き取れなかったり、知らない単語が出てきたりとまだまだ勉強不足と感じる場面が多かったです。この経験を活かして今後も韓国語の勉強を頑張ろうと思いました。1週間という短い期間でしたが、たくさんの出会いと学びがありました。行く前は不安や緊張がありましたが現地の学生や周りの人たちのサポートのおかげで楽しい有意義な研修になりました。

海外研修報告書

コミュニケーション学科2年

1. はじめに

まず、私が今回の韓国での海外研修に参加しようと思ったきっかけは、自分自身が幼少期からK-POPが好きだった影響で韓国に対する興味関心が高かったことから、大学を選ぶのに「韓国語や韓国の文化について学ぶことができる」ということを基準の一つとしていたことです。また、今回の研修に参加するにあたって、参加前に出来るだけ韓国語で話したりハングルを読むことを意識して過ごすことや、現地に行ったからこそ知れることを見聞きして沢山刺激を受けるような1週間にする、といったことを目標としました。

2. 韓国研修で学んだこと

今回の韓国での海外研修では様々な新しいことを知り、学ぶことができました。まず、今回の海外研修が自分自身初の海外だったため、準備する荷物や準備しておかないといけないこと、飛行機の乗り方など、「海外に行くための準備」に関する学びがいくつもあったなと感じました。特に変換プラグやスマートフォンのデータローミングなどの設定に関してはこれから海外に行く機会があった時にも参考になるため、今回で知れてよかったなと思いました。

研修の内容の中では、韓国または大邱の歴史と関係の深い様々なスポットを見て周りましたが、特に花川書院は当時のどのような人々がどんなことをするためにどのように使っていたのか、ということや当時の建造物がどのように建設されていたのかという視点で視ることでさらに関心を深めることができました。

これら5枚の写真に写っているのが花川書院です。



建設方法については、花川書院や河回村などの現代的な構造になっていない建物は、木造であることや、釘などを使わずに木組みで建てられている、石が多く使用されているという点は昔の日本と同様であることがわかりました。また、土を使っている部分があること

も同じでしたが、粘土が高い比率で使用されている点は日本と異なる部分だと言えます。



ほかにも花川書院ではあまり見られませんが、これら2枚の写真に写っているような、日本の歴史的な建造物ではあまり見られないような色が使われた建造物も多く建てられていました。

3. まとめ

今回の韓国研修では、この報告書には書ききれないほど学んだことが多くありました。また、多くのことを学んで刺激を受けたことで、さらにこれからの韓国語の勉強に力を入れるきっかけになったと感じています。現に、帰ってきてからこの数日間、韓国語はもちろんのこと、韓国の文化や現状などを自分で調べたり勉強したりする時間が以前よりも増加しています。この勉強も、研修での学びの一つであるガイドさんの「音楽でもドラマでもなんでもいいから、自分の好きなことを材料に勉強すると学習スピードも上がって効率よく進められる」という言葉をもとに、冒頭にも出てきた自分の好きなK-POPを勉強の材料に進めています。前述の通り、今回の研修が勉強に力を入れるきっかけとなったことで、以前までの進め方やスピード感が向上していると感じることが多々あります。

・これから海外研修に参加しようと思っている皆さんへ

これから韓国での海外研修に参加する皆さんには、思い出にもなりますが、研修後の勉強の材料になるという点でぜひ写真でも文字でもいいので、「記録に残す」ことや、海外の言語や文化などを学びに行くからこそ「日本を知る」勉強をしておくことをおすすめします。

(1, 423字)

韓国研修報告書



法律行政学科 2 年

1. はじめに

私が、海外研修に参加した理由は、人生で一度は海外に行きたいと思ったからです。その中でも韓国研修を選んだ理由は音楽や文化の違いなどに興味を持っていたからです。自分でも海外に行くことは可能ですが、大学で研修に参加し、韓国の学生と交流することで実際に大学生活の違いを知ることが出来たり、語学の勉強にもなったり自分のためになると思い参加を決めました。研修では韓国語で少しでも会話することを達成したいと思っていました。

2. 韓国研修で学んだこと

・積極的に話すことの大切さ

私は現地の学生と、上手くコミュニケーションが取れるか不安が大きかったです。しかし、韓国の学生の方々は日本語が上手で積極的に話してくれました。研修では韓国語で少しでも会話することを目標にしていたのですが、韓国の学生が日本語で話してくれて、自分から韓国語で話すことがあまり出来ませんでした。韓国の学生が日本語を話してくれたように、韓国語で会話ができるくらい勉強し自らコミュニケーションを取れるようになりたいと思いました。言語を覚えるだけでなく、積極的に話していくことが重要だと感じました。また、韓国は様々な場所で声をかけてくれる人もいて、気さくな方が多いと印象に残りました。



(韓国の学生と授業を受けている様子)

- ・食事の違い

韓国での食事は普段とは違いおかずが多く感じました。大学やホテルの周りのお店も飲食店が多かったのが印象的でした。海鮮鍋を食べた際には、生きたこをそのまま鍋に入れていたのが衝撃的でした。最終日には西門市場やスターバックスなどに行きました。韓国のスターバックスはメニューが日本とは違うものがあり、新鮮でした。大邱のスターバックスの建物も特徴的で行くことが出来て楽しかったです。西門市場では、見たことがない食べ物が多く初めて知ったものもありました。雑貨や食べ物など色々なものを見ることができました。食べ物では、韓国のおでんの具材であるオムク（魚介の練り物）やトッポギが美味しかったです。



(大邱のスターバックス)



(西門市場で食べたトッポギ)

- ・歴史について

研修では、いくつかの博物館に訪れました。特に印象的だったのが河回世界仮面博物館です。仮面がたくさんあり韓国には仮面踊りがあったことに驚きま

した。様々な国の仮面があり、違いを比べながら見るのが興味深かったです。2日目の安東歴史踏査では、韓国の伝統衣装であるチマチョゴリを着て写真を取れたのが良かったです。安東河回村とは王朝時代に創建された家屋や私塾があり、文化遺産にも登録されています。歩きながら芙蓉台(プヨンデ)と呼ばれる高台に登って村を見下ろしたのですが、景色が一望でき昔の安東河回村の様子を知ることができました。色んな場所を訪れたことで日本との関係や建築物の違いなど様々な歴史を学ぶことができました。他の国の歴史を学ぶ機会はあまりないので知るきっかけにもなり良かったです。



(チマチョゴリを着て歩いている様子)

3. まとめ

私は韓国研修で様々なことを学ぶことができ、貴重な経験になりました。研修を通して、韓国だけでなく他の国にも行き視野を広げたいと感じました。参加する前は緊張や不安がありましたが、親切な方が多く学生とも楽しく交流することができました。日本と韓国は近いですが、実際に行ってみると日本と街並みや大学生活など違うところも多く、貴重な経験にもなると思うのでぜひ参加して欲しいです。

韓国研修を終えて



(左：大邱市内の洋服のお店 右：慶州 仏国寺)

法律行政学科 2 年

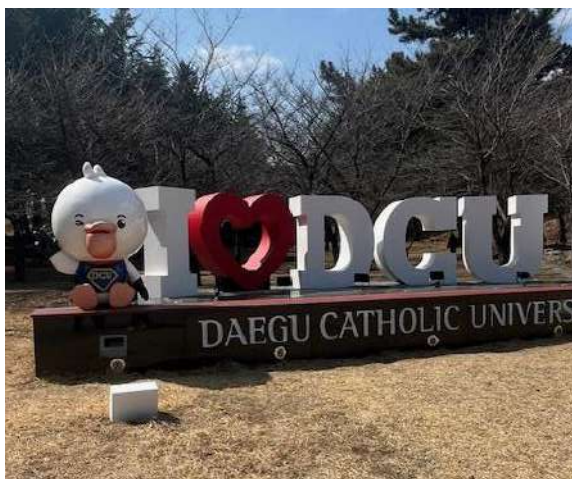
1. はじめに

今回私が韓国研修に参加した理由は、以前から韓国に興味を持っていたからです。ドラマやアイドルなどから韓国というものに興味を持ち、SNS等から韓国の流行や文化を知っていく中で、実際に現地へ行って韓国の方とのコミュニケーションを取ったりと、文化に触れることなど実際に行くでしか得ることのできない経験をしたいと思いこの研修への参加を決めました。また、学校で韓国語を学んでいく上で韓国語の楽しさを感じ、語学力を上げたいと思ったことも理由の一つでした。そこで今回の研修に参加するにあたって私は積極的に自ら現地の方と会話をして、参加前よりも少しでも語学力を向上させること、現地の大学生の友達を作ること为目标に設定しました。

2. 研修で学んだこと

文化の違い：

今回、1週間韓国で生活をしていく中で沢山の日本との文化の違いを感じました。特に食事の仕方に大きな違いを感じました。日本では、食事をする際大体は一人分の量が出たり、それぞれ小皿に分けたりするが、韓国での食事はほとんどが二人や三人以上で分けることのできる量であったり、キムチや副菜のようなもの沢山用意されていることがほとんどでこれらも何人かで直接分ける食事の仕方でした。また、サービスで出されているキムチや副菜は声をかければ無料でおかわりができたり、セルフサービスだったり日本とは全然違う所が多くありました。



大邱カトリック大学キャラクター

韓国の大学生活：

大邱カトリック大学内では、과잠 (クァジャム) といわれる学校や学科を象徴するデザインがプリントされているジャンパーを着ている学生の姿、オシャレなカフェが校舎の一部に設置されておりそこで勉強や休憩をしている沢山の学生の姿があり日本の大学生との大きな違いを感じました。また、学食では沢山の店舗が入っていたり、食券を購入する際はカード決済のみであったりともここでも日本文化との大きな違いを感じました。

3. まとめ

今回 1 週間韓国で研修をしていった中で学んだことでなく、韓国人の沢山の温かみを感じました。正直、行くまでは楽しみだけでなく不安も多くありました。しかし、食事したお店の方々はおいしい食べ方を教えてくださったり、一緒に食事や市内踏査をした現地の学生は私たちのやりたいこと、食べたいものなどを聞いた上でお勧めのお店に連れて行ってくれたりと親切な方ばかりでした。また、初めて現地の学生と会う時はとても緊張していましたが、交流した学生方は、日本のアニメや韓国との違いなど積極的に質問してくださったり、現地の学生からコミュニケーションを取ろうとしてくださる学生ばかりで、楽しく沢山のコミュニケーションをとることができました。今回韓国に訪れたのは 1 週間という短い期間ではありましたが、歴史踏査や市内踏査など韓国の文化に触れたり、実際に現地の学生と交流ができたことはこれからもなかなか体験することのできない貴重な経験であり、楽しさだけでなく多くの学びも得ることができました。



(大邱市内のスターバックス)



(大学寮からの景色)